

大学トップから高校生へのメッセージ

「自由と進歩」という建学の理念を掲げた東京法学社の開校から130有余年。今や市ヶ谷、小金井、多摩の3キャンパスに27000人を超える学生が集い、首都圏の一大総合大学として、揺るぎない地歩を固めつつある法政大学。今春には、東京六大学としても初となる女性総長の誕生という新しい1ページを加えました。グローバル社会を生き抜く上で欠かせない、語学力、異文化理解力の養成に加えて、持続可能な地球社会の構築についての意識を高めることにも一層力を入れることとしています。持続可能都市、江戸の研究でも著名な田中優子総長に、法政大学の使命、輩出すべき人材像と将来構想、あわせて高校生へのメッセージをお聞きました。



持続可能な地球社会の構築のために

グローバル時代の大学の生き方

みなさんの中にはすでに読まれた方もあるかもしれませんが、近著、『グローバル化の「江戸」』(岩波ジュニア新書)で一番伝えたかったのは、グローバル化とは地球全体が同じになることではない、ということでした。江戸時代成立の背景には、広い意味での

グローバル化は、輸入品には日本で作れないものも多く、また、高度な技術をもっている中国やインドにはなかなか追いつけず、人々は輸入品を作る技術に磨きをかけました。多くの職人を生み出した時代だったので、翻って市場経済が隔々にまで行き届いた現代のグローバル社会では、必要に迫られて個性が生み出された江戸時代とは異なり、輸入したものをそのまま国内で売り、あるいは加工して広く世界へ売ります。放っておくと地球土みなじょうな物

グローバル化の真骨頂であり、日本のグローバル化への対応のあるべき姿だと思っています。当時の衣食住の素材は自然素材ですから、輸入品には日本で作れないものも多く、また、高度な技術をもっている中国やインドにはなかなか追いつけず、人々は輸入品を作る技術に磨きをかけました。多くの職人を生み出した時代だったので、翻って市場経済が隔々にまで行き届いた現代のグローバル社会では、必要に迫られて個性が生み出された江戸時代とは異なり、輸入したものをそのまま国内で売り、あるいは加工して広く世界へ売ります。放っておくと地球土みなじょうな物

に覆われかねません。今、私たちが直面している問題は、このことなのです。じつは大学も今、同じ危機に直面しています。国による大学のグローバル化政策の中で、全ての大学に同じ問いがなされます。建学の理念に基づいて個性ある教育・研究を続けてきた私立大学といえども、対応の仕方によってはその良さを失いかねません。そうなればいくらグローバル化を唱えても、海外の若



法政大学総長 田中 優子 先生

1952年生まれ。神奈川県出身。1974年3月法政大学文学部卒業 1980年3月法政大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学。専攻は江戸時代の文学・生活文化、アジア比較文化。1980年4月 法政大学第一教養部専任講師、1983年4月助教授、1991年4月同教授、2003年4月法政大学社会学部教授、2012年4月同学部長(2014年3月まで)。2012年4月学校法人法政大学評議員(2014年3月まで) 2014年4月から現職。行政改革審議会委員、国土交通省審議会委員、日韓交流出版選定委員、外務省ベトナム交流委員、放送文化基金審査委員、町田市文化財保護委員、文部科学省学術審議会委員、朝日新聞書評委員、芸術選奨(文化庁)委員等を歴任。『週刊金曜日』編集委員、放送文化基金評議員 サントリー芸術財団理事。清泉女学院中学高等学校出身。

者に対してアピールするものが無くなります。少子化と並ぶ大学の危機と言ってもいいでしょう。もちろん単位互換のための基準作り、英語能力向上などはどの大学にも共通するテーマです。しかしそれがグローバル化のために必要なことか、それではありません。今、それぞれの大学に求められるのは、世界の中でどういう存在を目指し、世界にどういった貢献をするかを明確にすること、同じ問いに対して異なる答えを出す、いわば内実あるグローバル化なのです。

《持続可能な地球社会の構築》は、法政大学の長いあいだのミッションです。グローバル社会を生きていく若者には、環境問題や地域温暖化への対応だけでなく、持続可能性(サステナビリティ)についての意識を高めてほしいのです。すでに法政大学においては複数の学部で何十年もこのテーマを追い続けてきています。デザイン工学部では水辺環境の研究をしてきました。1999年には、日本で最初にこのテーマを本格的に取り扱う人間環境学部が開設されています。また2009年8月には、サステナビリティ学のための大型研究を担うサステナビリティ研究教育機構が、2013

年にはその中からサステナビリティ研究所が立ち上がり、2008年に開設された生命科学部では、環境応用化学科による、人間と環境にやさしく持続可能な社会を目指す化学、グリーンケミストリをはじめ、最近では応用植物科学科にグリーンテクノロジや植物医学などの分野も加わっています。確かに現在、環境問題や地球温暖化、あるいは原子力発電などに関心は様々な見解、意見もあり、政治や世の中の関心も、さざ波のように揺れ動いています。しかし私たちは、温暖化が確実に気候変動を起こしていることを実感しています。しかし多くの自治体や、地域の原子力の受け入れ拒否に対応して、再生可能エネルギーの開発に力を入れているのも事実です。いずれにしろ今後私たちは、起きていることを大前提に、多方面からの知識を集めて持続可能性についての議論を深め、その上でいくつもの決断をしていかなければならないのです。



発行所:くらむぼん出版 〒531-0071 大阪市北区中津1-14-2 TEL06(6372)5372 FAX06(6372)5374

E-mail KYA01311@nifty.com http://www.djweb.jp/

So What?と言われなために Contents

- 03 進路のヒント 目指せ!グローバル人材その1 元大使に聞く——ディベート力を身につけよう 日本英語交流連盟 沼田貞昭先生
04 平和と繁栄のために グレアブ・キャビン・アンダーソン(株) 土井正己副社長
05 EU発の先駆的世界大学ランキングが始動/アドラーと教育/トピックス
06 ヨーロッパの多様性で学び、日欧でダブル・ディグリーを取得 神戸大学日欧教育連携部長 萩原泰治先生
07 英語を体験する 佛教大学文学部英米学科 松本真治先生
08 Global×Local 実社会と連携した課題解決型学習を通して、地域社会に貢献できる人を育てたい 京都文教大学 総合社会学部 黒宮一太先生
09 デキル!学科 京都で日本文化の神髄を学び、世界とつながろう 京都産業大学文化学部長 若松正志先生
10 AO入試合格者座談会/トピックス 武川アイさんの東京・ジャパン、グローバル
12 ススメ理系 大栗博司先生の「超弦理論が予言する驚異の宇宙」第2回 どうして数学を学ぶの
13 マジック×催眠術×認知科学最前線/ビジネスが誕生するとき
14 イギリスの大学進学のための資格試験制度 第2回/書評 世界の若者が、自分の一番輝ける場所で働けるように フォースバレー・コンシェルジュ(株) 柴崎洋平社長
16 デキル!キャンパス 立命館大学大阪いばらきキャンパス(OIC)開設 立命館大学総長 川口清史先生 立命館大学政策科学部長 重森田広先生

読者アンケート募集中



読者アンケートを募集しています。左のバーコードを読み取り、アンケートにお答えください。

ピア・ネット Gラウンジ

学生の中には教科以外で得意な分野をもっている者も少なくないことから、それを学生同士、お互いに教え合っ

一昨年、グローバル人材育成事業の一環として3キャンパスで始まったグローバルラウンジもその一つ。常駐する

のは間違いありません。とくに、それがすでに始

含めてどれだけの日本人が伝統文化について語

を主に、環境、社会、文化、それぞれについて

新開設! チャレンジ法政奨学金

東京都、神奈川、埼玉、千葉以外の国内高校出身者で、法政大学への入学を強く

読むこと、書くこと、グローバルコミュニケーションを中心に

現代の高校生は、日常生活の中で本を読むことが少なくなったと言われて

人前で発言するにしろ、書いたものを先生に直してもらうにしろ、それを第三者に認めてもら

そもそも「ものを書く」ということは、きれいな文章を書くことではありません

高校生へのメッセージ

と言葉で表明すること。もちろんきちんと発信しても、批判は受けます

こういう経験を高校時代にしておけば、大学ではその力をさらに高めることができます

この時必要なのは、百科事典的説明でもなければ理路整然とした論理的な説明でもありません

でどんな学生が育ってきたのか、学生は本学をどう見ているのかについて

私はここに自身の経験も重ね、本学という自由とは放縦ではなく、自律、つまり自分で自分をマネ

自由と自律、進歩の精神が求められるのです。もちろんみな、すべてに

断ることができるように、教職員一体となって育てていかなければならないと考えて

その先の自分を創る。



法政大学一般入学試験日程

Table with columns for exam type (T日程, A方式, B方式, C方式), implementation department, and exam dates. Includes details for general admission and center exams.

法政大学

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1 TEL 03-3264-9300 (直通)

進路のヒント 目指せ！グローバル人材 その1

2011年から始まるこの特集も、今回で早くも4年目。今年も、今号と次号とで様々な取り組みをご紹介しますが、特に今年は、大学人以外からのメッセージや、外国語の力以外にグローバル人材に求められる資質、英語圏以外を指した取り組みやグローバルな視点を持つ国内で活躍するための取り組み等もご紹介いたします。

マララに学ぼう

すでに高校生のみならずの中には、パキスタンの少女マララ・ユサフザイ(Malala Yousafzai)が16歳の誕生日に行った国連でのスピーチを見た人も多いかもれません。おそらく彼女は今、みなさんにとってもっともお手本となるグローバル・コミュニケーションだと私は思っています。

わずか16歳の少女が、あそこまで世界中に響き渡るメッセージを発信できたことは驚異的です。しかも彼女の母国語はおそらくバシュトー語で、英語はウルドゥー語ともな学校でしか習っていないはず。自ら命の危険と向き合う中で、伝えたいことを「簡潔かつ明確に、パッションをもって」訴える。これがスピーチに限らず、ディベートであれ、外交交渉であれ、人を説得するための基本です。

ところで今、私はグローバル・コミュニケーションという言葉を使いましたが、グローバル人材(global human resources)というのはあまり適切な言葉ではないかと思うからです。何か物扱いのような響きがあるから。しかもこれはとなく学校教育、語学教育の問題に矮小化され、学校の先生のしわ寄せが行くというところが繰り返されてきたと思います。今必要なのは、日本人全員の英語力を向上することよりも、世界の人々と外国語で互角に渡り合うことを本当に必要とする人たちに、そのためのコミュニケーション力をどうやって身につけさせるかということだと思えます。ではあらためて、国際的な場で渡り合っているのに必要な資質とは何か。まず、心構えと何か、グローバル・マインドセットとして、第一に、異なるものに関心を持ち、それを受け入れるオープンなマインドと自分の殻から外へ出て行くという意欲。第二に、多様な価値観、人間性に対する敬意。第三に、将来を見通す能力が必要です。その上でさらに必要なのが、日本人が苦手とすると言われる知的討論や知的対話の能力です。

元大使に聞く ディベート力を身につけよう

Not a quarrel, but a game of persuasion. An intellectual sport.

グローバル人材にとってもっとも大切な力であり、しかも日本人にもっとも欠けているのは『説得力』、こう言われるのは元外交官の沼田貞昭氏。41年の外交官生活、その間10年に亘る総理通訳のご経験などから、グローバル・コミュニケーションに必要な力などについて語っていただきました。



日本英語交流連盟 沼田 貞昭 先生

Profile
1966年東京大学法学部卒業、外務省入省。在米大使館安全保障担当、本省北米第一課長などを歴任後、94年に在英特命全権公使。98年外務報道官。2000年からパキスタン、04年からカナダの特命全権大使を歴任し、07年に退官。鹿島建設顧問。都立西高等学校出身。

日本英語交流連盟
(英語名:The English-Speaking Union of Japan, 略称ESUJ) : 国際共通語としての英語を通じて、国際的な相互理解と世界の人々との友好を主たる目的として、1998年10月に発足した非営利、非政治のボランティア団体。またESUは1918年に英国で設立。現在では世界40カ国以上に広がる国際的な組織。

グローバル・コミュニケーションに求められるもの
ここで少し、スピーチやディスカッションといったグローバル・コミュニケーションのスキルの要点をご紹介します。そして、ユーマも必ず入るべき要素です。

一方的に語ってはいけません。どんな人が聴いているのかを分析しておくことも重要です。東京2020オリンピック・パラリンピックのアルゼンチン・ブエノスアイレスでの日本チームのプレゼンテーションに導いた、イギリスのコンサルタント、ニック・バーリーの言葉を借りれば、「聴衆を知れ」ということになりませぬ。そして一番大事なことは、言いたいことを前もってシンプルかつ短く整理しておくこと。これは日本人が苦手とされる外国でのTV出演を経験するとよくわかります。私はイギリス駐在時代、BBCなどテレビ・ラジオのニュース番組に4年間で126回出演し、日本についていろいろ厳しいインタビューを受けました。時間制限のある中、司会者に遮られながら自分の言いたいことを外国語で圧縮して伝えるにはそれだけの用意が必要です。バーリー氏は、「パワー・オブ・スリー」つまり要点を3点ぐらいにまとめておくようにと言っています。

これは当たり前ですが、大きな声で、原稿を読まずに簡潔書きを手元に置いて話すこと。アイコンタクトを忘れず、目を見なければ、額を見てもいいでしょう。そしてジュエスチャーを使い、ユーマも必ず入るべき要素です。

ディベートについて
知的討論、知的対話の力を高め、説得力を養うのに最も効果的なのがディベートの訓練です。日本人は往々にして、ディベートという喧嘩腰でやるもののように捉えがちですが、まずその考え方を払拭する必要があります。Youtubeなどで実際に見てもらえばいいと思います。イギリスの国会討論は、日本のそれとは違い真剣な中にもユーマがあります。イギリス人にとってパラメンタリー・ディベートは、インテレクチュアル・スポーツであり、まさに知的ゲームの一種なのです。

ディベートのススメ
知的討論、知的対話の力を高め、説得力を養うのに最も効果的なのがディベートの訓練です。日本人は往々にして、ディベートという喧嘩腰でやるもののように捉えがちですが、まずその考え方を払拭する必要があります。Youtubeなどで実際に見てもらえばいいと思います。イギリスの国会討論は、日本のそれとは違い真剣な中にもユーマがあります。イギリス人にとってパラメンタリー・ディベートは、インテレクチュアル・スポーツであり、まさに知的ゲームの一種なのです。

ディベートについてです。一方的に語ってはいけません。どんな人が聴いているのかを分析しておくことも重要です。東京2020オリンピック・パラリンピックのアルゼンチン・ブエノスアイレスでの日本チームのプレゼンテーションに導いた、イギリスのコンサルタント、ニック・バーリーの言葉を借りれば、「聴衆を知れ」ということになりませぬ。そして一番大事なことは、言いたいことを前もってシンプルかつ短く整理しておくこと。これは日本人が苦手とされる外国でのTV出演を経験するとよくわかります。私はイギリス駐在時代、BBCなどテレビ・ラジオのニュース番組に4年間で126回出演し、日本についていろいろ厳しいインタビューを受けました。時間制限のある中、司会者に遮られながら自分の言いたいことを外国語で圧縮して伝えるにはそれだけの用意が必要です。バーリー氏は、「パワー・オブ・スリー」つまり要点を3点ぐらいにまとめておくようにと言っています。

書く力の養成も大事。私の留学体験から
グローバル・コミュニケーションでは、話すことに加えて、筋道を立てて説明するために書く力を養うことも大切です。それも英作文ではなく、英語で考え、英語で書くのです。私は高3の時、AFS(American Field Service)で1年間、ジョン・F・ケネディの母校であるチョート高校(The Choate School、コネチカット州ウォリントンフォード)へ留学しましたが、毎週月曜日の1時間限りに行われる英語の授業では、毎回500語のエッセーを書かされ、たいへん苦労しました。その後、大学を卒業し外務省へ入ってから留学したオックスフォード大学では、さらにたいへんな経験をしました。哲学・政治・経済の修士号を取りましたが、各科目週に一度の授業(チュートリアル)では、毎回最後に次週までに考えておくべき課題と関連する参考書を10冊ほど、チューターから与えられます。そして次の週の授業では、まず約数千語にもなるエッセーを読み上げさせられます。授業は1対1で、それをチューターが批判し、またそれに答えるということの繰り返しです。おかげでクリティカルシンキングの経験を積むことができたのです。

は社会人の大会を主催しています。最近では、社会人の大会に参加していた高校の先生たちが中心になって始められた、高校生対象のH P D U (High School Parliamentary Debate Union)の支援も行っています。本来なら義務教育の中に取り入れるべきではないかと思っておりますが、残念ながら思っておりません。日本語でもできていないのが日本の学校の現状のようです。

ディベートについてです。一方的に語ってはいけません。どんな人が聴いているのかを分析しておくことも重要です。東京2020オリンピック・パラリンピックのアルゼンチン・ブエノスアイレスでの日本チームのプレゼンテーションに導いた、イギリスのコンサルタント、ニック・バーリーの言葉を借りれば、「聴衆を知れ」ということになりませぬ。そして一番大事なことは、言いたいことを前もってシンプルかつ短く整理しておくこと。これは日本人が苦手とされる外国でのTV出演を経験するとよくわかります。私はイギリス駐在時代、BBCなどテレビ・ラジオのニュース番組に4年間で126回出演し、日本についていろいろ厳しいインタビューを受けました。時間制限のある中、司会者に遮られながら自分の言いたいことを外国語で圧縮して伝えるにはそれだけの用意が必要です。バーリー氏は、「パワー・オブ・スリー」つまり要点を3点ぐらいにまとめておくようにと言っています。

パラメンタリー・ディベートのススメ
知的討論、知的対話の力を高め、説得力を養うのに最も効果的なのがディベートの訓練です。日本人は往々にして、ディベートという喧嘩腰でやるもののように捉えがちですが、まずその考え方を払拭する必要があります。Youtubeなどで実際に見てもらえばいいと思います。イギリスの国会討論は、日本のそれとは違い真剣な中にもユーマがあります。イギリス人にとってパラメンタリー・ディベートは、インテレクチュアル・スポーツであり、まさに知的ゲームの一種なのです。

ディベートについてです。一方的に語ってはいけません。どんな人が聴いているのかを分析しておくことも重要です。東京2020オリンピック・パラリンピックのアルゼンチン・ブエノスアイレスでの日本チームのプレゼンテーションに導いた、イギリスのコンサルタント、ニック・バーリーの言葉を借りれば、「聴衆を知れ」ということになりませぬ。そして一番大事なことは、言いたいことを前もってシンプルかつ短く整理しておくこと。これは日本人が苦手とされる外国でのTV出演を経験するとよくわかります。私はイギリス駐在時代、BBCなどテレビ・ラジオのニュース番組に4年間で126回出演し、日本についていろいろ厳しいインタビューを受けました。時間制限のある中、司会者に遮られながら自分の言いたいことを外国語で圧縮して伝えるにはそれだけの用意が必要です。バーリー氏は、「パワー・オブ・スリー」つまり要点を3点ぐらいにまとめておくようにと言っています。

ディベートについてです。一方的に語ってはいけません。どんな人が聴いているのかを分析しておくことも重要です。東京2020オリンピック・パラリンピックのアルゼンチン・ブエノスアイレスでの日本チームのプレゼンテーションに導いた、イギリスのコンサルタント、ニック・バーリーの言葉を借りれば、「聴衆を知れ」ということになりませぬ。そして一番大事なことは、言いたいことを前もってシンプルかつ短く整理しておくこと。これは日本人が苦手とされる外国でのTV出演を経験するとよくわかります。私はイギリス駐在時代、BBCなどテレビ・ラジオのニュース番組に4年間で126回出演し、日本についていろいろ厳しいインタビューを受けました。時間制限のある中、司会者に遮られながら自分の言いたいことを外国語で圧縮して伝えるにはそれだけの用意が必要です。バーリー氏は、「パワー・オブ・スリー」つまり要点を3点ぐらいにまとめておくようにと言っています。

※1 NICK VARLEY ロンドンを拠点とする国際スポーツコンサルタント企業Deventerの創業者兼CEO。戦略的コンサルタントとして、12年のロンドン、16年のリオデジャネイロ、そして20年の東京と、3大会連続で招致成功へ導いたと言われる同氏が挙げた戦略には、「DO THE MATH」つまり数字から「自分の持ち時間、チームの場合には人の持ち時間、およびそのスピードを計算せよ」、「KNOW YOUR AUDIENCE」オーディエンスを知れ等7つがある。

※2 Parliamentary Debate ディベートには他にも、ポリシア(カデミック)ディベートがある。法定モジュールで、対象専門家を想定。テーマは数か月前に与えられ、参加者はその間、様々な資料を当たり、審査では、精緻な議論を証拠を示しつつ展開できるかが問われる。

※3 2010年調査による

目指せ!グローバル人材

企業でグローバルコミュニケーションを担当

自動車産業は、約3万点におよぶ部品を造る製造業... 基盤が必要と言われるように、裾野がとても広く、経済的な波及効果が大きい...

企業の海外進出は新しい局面に

現在日本は、第二の国際化の波に飲み込まれています。最初の波は1985年のプラザ合意に始まるもので、この時は円高が一気に進み、国内製造業の多くは為替による損失を免れようと海外生産に踏み切りました...

平和と繁栄のために

グローバルコミュニケーションに求められるもの

大学がグローバル人材育成に力を入れる背景には、産業界からの強い要請があるとされています。それではグローバル展開を進める企業は、グローバル化やグローバル人材についてどのような見解を持っているのでしょうか...



クレーブ・ギャビン・アンダーソン株式会社 副社長 土井 正己氏

Profile 大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)卒業。2013年末まで、トヨタ自動車に31年間勤務。主に広報分野、グローバル・マーケティング(宣伝)分野、海外営業分野で活躍...

グローバルコミュニケーションに求められるもの

このような状況の中では個人間の競争も激化しています。すでにグローバル化している企業だけでなく、これから国際化を図ろうという企業、これまでは国内だけを見ていた企業も含まれてきます...

これが昨今、日本の大学がグローバル人材育成に力を入れるようになった背景であり、今やみなさんが、好むと好まざるにかかわらず、グローバルコミュニケーション力と、そのツールとしての世界共通語である英語を身につけなければならないとされる根拠です...

凝った言い回しやテクニクに陥らず、極力シンプルであることを心がけるだけで、日本人の英語力はもつと上達するのではないのでしょうか...

今世紀に入り、世界ではアフリカなどにおける貧困の問題がクローズアップされ、国連によって「人間の安全保障」*3によって「人間の安全保障」*3も謳われるようになりまし...

世界の平和と繁栄のために

最近私は、長年勤務した会社で、なぜ世界で1、2を争うような企業になったかについて自分なりの研究をまとめました...

「イノベーション」企業経営の在り方「トヨタ」プリウスに見る「イノベーション」マネジメント...

「イノベーション」企業経営の在り方「トヨタ」プリウスに見る「イノベーション」マネジメント...

「イノベーション」企業経営の在り方「トヨタ」プリウスに見る「イノベーション」マネジメント...

OPEN CAMPUS 2014 中宮・学研都市両キャンパス同日開催 7/26(土)・7/27(日)・9/14(日) 中宮キャンパス単独開催日 12/20(土) 学研都市キャンパス単独開催日 8/23(土)・10/26(日)

EU発の先駆的世界大学ランキングが始動
北陸先端大が研究面で国内最高レベルの評価



1990年、日本で最初の先端科学技術大学院大学として開学した北陸先端科学技術大学院大学。豊かな自然に囲まれたキャンパスも自慢の一つ。

5月に、欧州連合(EU)の主導による新たな世界大学ランキング「U-Multirank 2014」が公表された。U-Multirankは、EUから出資を受けたコンソーシアムがドット・高等教育開発センター(CHEC:Center for Higher Education)やオランダ・トゥウェンテ大学高等教育政策研究センター(CHECS:Center for Higher Education Policy Studies at the university of Twente)等の専門機関の支援を受けて実施する...

かという懸念も示されていた。今回、EUが新たなランキングシステムの開発に乗り出した背景には、既存のランキングのこのような影響によって、欧州の個性的な高等教育機関が埋没することへの危機感が見え隠りする。

U-Multirankは、大学の序列化をさけるために、異なる活動の成果を総合したリーグテーブル順位表をあえて作成せず、研究、教育・学習、国際指向、知識移動等のパフォーマンス分野ごとの多面的なランキングを導入することとしている。また、ユーザーのニーズに応じた比較を容易にするよう、項目ごとに5段階評価としている。ユーザーは、自らの関心に応じて多様な視点から大学を比較することが可能となる。

本年度の結果が公表された第1回ランキングでは、世界70ヶ国以上の850を超える高等教育機関が評価対象となった。日本の大学では東大、京大、名大、九大、東工大、筑波大、早稲田大、慶應大など、21大学が対象となっている。

この新たな大学ランキングにおいては、最も特徴的だったのは、既存の世界大学ランキングではみえない小規模大学や、研究以外の特定の分野に強みや特徴をもつ大学が浮き彫りになったことである。これは、U-Multirankが、既存のランキングとは異なり、教員一人当たりの成果指標や学生の学位取得率などといった、比率による評価指標を多く導入した結果と思われる。

ところで、我が国の大学に関しては、これまでの世界大学ランキングではあまり知られていなかった北陸先端科学技術大学院大学が、研究・国際指向の分野で国内最高レベルの評価となったことが注目に値する。同大学は、学部をもたない独立の大学院大学で、教員は約180人、学生数も約900人と小規模であるが、研究成果、外部資金獲得、外国語プログラム、外国人学生への学位授与率など、研究関連分野や国際指向分野の主要項目の多くで最高ランクの評価を受け、研究関連の評価では、国内の大学では東大に次ぐレベル、国際指向については、国内トップレベルとなっている。

人類の未来は教師の手に握られている
アドラーの教育論 第2回



岸見 一郎先生

オーストリア出身の精神科医アルフレッド・アドラー(1870~1937)は、フロイトの共同研究者であった時期もあり、ユングとともに現代の心理療法を確立した一人とされています。日本で最初にアドラーを紹介したのは精神科医の野田俊作氏(博士)です。そしてこれまでも、その友人である岸見一郎先生。近著『嫌われる勇気』(ダイヤモンド社)は25万部に迫る売れ行きです(4月末現在)。岸見先生に3回に亘ってアドラーの教育論の概要と今日的意義を寄稿していただいています。

叱らない
伝統的な教育の方法は共同体感覚を育成しない。まず、アドラーは罰による教育を否定する。ここでいう罰には叱ることも含まれている。今日、叱ることが教育に有用であると公言する人は少ないかもしれないが、体罰でなければ、叱ることも必要だと考えている人は多い。しかし、どこからが体罰かと考えるより、叱ることが既に体罰に等しいと考える、叱ることを

教育の方法として認めない方が話の簡単である。叱ることにはどんな問題があるか知っていなければならぬ。まず、大人が子どもを叱ると、子どもの問題行動に注目することになる。適切な行動をとっても注目されるのであれば、せめて叱られるという形で注目されたいと思う子どもは、確信犯的に叱られることをする。これほど叱っているにもかかわらず、問題行動をやめないのではなく、叱っているし、自分を下に置く人を「仲間

からこそ、問題行動をやめなさいというのが本当である。次に叱られた子どもが、行動を改めたとしても、ただ怖れをなしてそうしただけであるから、いつでもまた簡単に元に戻るようになる。叱る大人を前にした時にだけ適切な行動をして、叱らない大人の前では羽目を外すようでは困る。第三に、叱ると大人と子どもの関係が悪くなる。罰を使った権威主義的な教育は、大人と子どもの関係を「疎遠」にする。叱る時に、怒りの感情を伴わない人はないだろう。アドラーは、怒りは人と人を引き離す感情である、と述べている。大人が犯す間違いは、叱ることで子どもとの関係を悪くし、子どもとの距離を遠くしておいてから、子どもを援助しようとすることである。子どもを援助しようとするなら、関係がよくなければならない。さらに、子どもを叱る時、子どもを対等とは見ていない。自分よりも下だと思っただけから叱るのである。対人関係の下に置かれた子どもはそのことを嬉しうと思わないであろうし、自分を下に置く人を「仲間

間」とは思わないだろう。アドラーは、あらゆる対人関係は対等の横の関係であるべきであると考えているが、大人と子どもの関係も例外ではない。
甘やかさない
他方、アドラーは甘やかしの教育も否定する。アドラーが「自己への執着」を問題にしていることは前回見たが、甘やかしは子どもを自己中心的にし、依存的にするので、自分の責任で解決しなければならぬ課題に取り組みもしなくなる。そのような子どもは自分で代わって課題を解決しない大人を仲間とは見ない。

国際教育学会 第9回大会
公開シンポジウム「学力とモラル」を開催します

開催日 2014年8月9日(土) 10:00~16:30
会場 京都大学百周年時計台記念館国際交流ホールI

公開シンポジウム第一部
「効果的な学習」(10:00~11:25)

- 10:00~10:20 奥村聡(一般社団法人CCCプロジェクト代表理事)
10:20~10:40 川越栄子(神戸学院大学教授)
休憩(10:40~10:45)
10:45~11:05 鳥日吉木(ウリ・ジムス)(お茶の水女子大学)
11:05~11:25 村瀬雅俊(京都大学基礎物理学研究所准教授)、村瀬智子(日本赤十字豊田看護大学教授)

公開シンポジウム第二部
「モラルの教育と教育のモラル」(13:20~15:00)

- 13:20~14:00 基調講演 木村昌平(セコム株式会社相談役)
14:00~14:30 川岸克己(安田女子大学文学部教授)
14:30~15:00 内海健(東京芸術大学保健管理センター教授)
休憩(15:00~15:10)

公開シンポジウム第三部
パネルディスカッション「モラル心と言葉の創造性」(15:10~16:30)

懇親会(会場:京都大学百周年時計台記念館会議室III) (16:45~19:00)

共催
国際教育学会(ISE)、京都大学経済研究所、京都大学基礎物理学研究所、京都大学統合複雑系科学国際研究ユニット、GSEE/Kyoto、同志社大学経済学部、神戸大学経済経営研究所、ユナイテッド・アース

平成27年4月人間科学部に
キャリア英語学科*誕生!
※平成27年4月開設(届出中)
実践的な英語力を「仕事」に活かすことのできる人材を養成する学科です。
OPEN CAMPUS 2014
狭山キャンパス・泉ヶ丘キャンパス
7/13(日)・8/2(土)・8/3(日)・8/24(日)
9/15(月祝)
時間 10:00~15:00
プログラム ●学部・学科概要説明 ●入試説明 ●体験講義 ●キャンパス見学 ●個別相談コーナー ●学食ランチ体験
7/13(日)、8/2(土)、8/24(日) キャリア英語学科 開設記念イベント開催
リベラルアーツ学部 | リベラルアーツ学科
人間科学部 | キャリア英語学科* | 情報メディア学科 | 心理学科 | 食物栄養学科 | (管理栄養士課程) / (健康実践栄養士課程)
■狭山キャンパス 大阪府大阪狭山市今熊2-1823
■泉ヶ丘キャンパス 大阪府堺市南区晴美台4-2-2
お問い合わせ アドミッションセンター
TEL 072-368-3108
〒589-8585 大阪府大阪狭山市今熊2-1823

旅する、キャンパス。
学びも遊びも、ワクワクしなくっちゃ。「不思議!」も「なるほど!」もいっぱいキャンパスを、旅してみませんか?
2014 OPEN CAMPUS
各日10:00~15:00
7/13(日) 8/23(土) 9/14(日) 11/8(土)
国際学部/外国語学科(英米語専攻、中国語専攻、韓国・朝鮮語専攻、日本語専攻)
地域文化学科(アジア・オセアニア、ヨーロッパ・アフリカ、アメリカ各研究コース)
スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻(2015年4月新設予定・届出書類提出中)
体育学部/体育学科(競技、教育、創造、健康、武道 各コース)
人間学部/宗教学科、人間関係学科(臨床心理専攻、生涯教育専攻、社会福祉専攻)
文学部/国文学国語学科、歴史文化学科(歴史学専攻、考古学・民俗学専攻)
〒632-8510 奈良県天理市袖之内町1050
天理大学 入試課 TEL 0743-62-2164
http://www.tenri-u.ac.jp/

英語を体験する

英語の勉強は好きですか？机と向き合っただけでは、なかなか英語を使いこなすことはできません。外国語を身につけるには、まずは積極的に使ってみることを。佛敎大学で英米文化を教える松本真治先生に、留学の魅力や授業の工夫についてお聞きしました。

留学のすすめ

英米学科はもともと英文学科という名称で、英文学について教えていました。近年は名前を変え、英米文化一般やコミュニケーションツールとして英語を学ぶ授業の比重を増やしています。この学科の一つの強みが、語学留学ができること。希望者は春休みに5週間、または春学期もしくは秋学期に半年間、オーストラリアのディーキン大学で学ぶことができます。ディーキン大学で取得した単位も佛敎大学の卒業単位として認められるため、留学し



オーストラリア・ディーキン大学での授業。少人数で発言の機会も多い。

ても4年間で卒業できます。半年留学するだけで英語力が格段に伸びるかは別にして、その大きなメリットは、生活の中で英語を使う体験ができるということです。ディーキン大学には中国や韓国などさまざまな国からの留学生が集まっています。異なる国で育った同世代の人間と、お互いの流暢とはいかないまでも、真剣に英語でコミュニケーションを取ろうとするのは、年上の教員から授業で英語を教わるのとは全く違った体験でしょう。なかには、友達になった他の国からの留学生と、2泊3日で旅行をする学生も出てきます

が、育ってきた文化の違いから、ずっと一緒にいると嫌な思いをしたり、喧嘩になったりすることも多い。一見、小さな体験かもしれないですが、実はそこから文化の違いの大きさや言葉の大切さが実感できるのです。教育のグローバル化が課題と言われているですが、それは単に英語ができることではないと、私は思っています。自分と相手の違いを体験から学び、それを受け入れることが重要なのではないのでしょうか。留学から帰ってきた学生の感想には、最初は苦労したけれど行ってよかった、もっと長く向こうにいた



佛敎大学 文学部 英米学科 松本 真治 先生

Profile
佛敎大学大学院文学研究科修士課程修了。龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学。イギリスの詩人T.S.エリオットや現代作家ミユエル・スバークの研究に加え、英米文化を英語教育においてどのように活かすかということにも興味を持っている。大阪府立島上高等学校(統合を経て現大阪府立槻の木高等学校)出身。

相手を意識して

多かった、というものが多。外国人と接することへの恐怖感が全くなくなった、と書いていた学生もいます。留学を経験すると、英語を使うことへの抵抗が驚くほど少なくなりま

私のゼミでは、たとえ下手でもまずは英語で書いてみる、話してみようということを重視しています。大学では、理論的な勉強もまた大切なことはいまでもありませんが、座学だけでは意欲を維持しにくい。机に座って学ぶのと、実際に使いつつ身につけていくのは車の両輪のようなもので、どちらかに偏らないことが大切。そこで具体的なには、研究テーマを決め、調べた内容を英語でプレゼンしてもらいます。テーマはイギリス文化か英語教育に関

由です。プレゼンにあたって指導しているのは、できるだけオーデイエンスを意識すること。勉強したことをただ紹介するだけならプレゼンとは言えませんが、とにかく相手に伝え、わかってもう努力をしよう、と。そしてそのためにはまず、相手が聞き取れるようにはっきりと喋ること。ここでも前提となるのは、自分と違う他人がいることを意識することなのです。

英語を読む、英語を聞く

高校生のみなさんに伝えたいのは、やはり英語の勉強は、机の前でやるだけではいけないということ。英語力、ますます高

す。例えば、原著でなくともいいですから、英米文学の名作が平易な英語で書かれたグレイデッド・リーダーのようなものを読んでみる。長く読まれてきた物語にはそれ相應の魅力があります。試験の問題文では味わえない、ページをめくる楽しさというものを、ぜひとも感じてほしいと思います。またあらすじだけでも知っていれば、英語圏の人と接するときの話題にもなります。外国の映画やラジオ番組を、英語で聞いてみるのもいいでしょう。内容を完全に理解できなくても、雰囲気や味わうだけでもかまいません。ほかには、身近にいるネイティブに話しかけてみるのもいい経験になるでしょう。自分で英語を読む、英語を聞くという体験の楽しさを経験すること、それが英語上達の何よりのコツだと思います。

私の海外体験

私が英語に興味を持ったきっかけは、大学に入ってすぐ、外国語の授業でネイティブの先生に教わったことでした。それまで、外国人を見かけることはあっても話す機会はありませんでしたから、直接ネイティブと接した体験は衝撃的でした。何はともあれ、英語を勉強しなければいけないと強く実感したのを覚えています。

その後、英文学を研究する道に進みましたが、初めて海外へ出たのはなんと新婚旅行の時です。イギリスに行きましたが、ある町で家内と2人で信号が変わるのを待っていると、隣に立っていたおばあさんに話しかけられました。どこから来たのかと聞かれ日本だと答えると、「Welcome!」と言ってくれたのです。あのときの感動は今でも忘れられません。

もちろん楽しいことばかりではありません。去年まで1年間イギリスに行っていましたが、家族で道を歩いていると、通り過ぎる車から、白人でないことをからかう、びっくりするほど汚い言葉を投げかけられました。また、黒人の珍しいオーストラリアでは、黒人のカップルとすれ違った白人の老夫婦が、ぎょっとしたように振り返るのを見かけたこともあります。しかし、楽しいことであれ嫌なことであれ、日本にいただけでは感じられない世界の現実を実感できたという点で、海外での体験は貴重なものでした。

わたしにできることはなんだろう。

オープンキャンパス 2014
7/20 sun
8/2 sat・8/3 sun
 @紫野キャンパス、二条キャンパス

保健医療技術学部 看護学科2年 小西紗絵加さん

佛敎大学は7学部14学科。京都だから、学べることもある。

仏教学部 <input type="checkbox"/> 仏教学科	文学部 <input type="checkbox"/> 日本文学科 <input type="checkbox"/> 中国学科 <input type="checkbox"/> 英米学科	歴史学部 <input type="checkbox"/> 歴史学科 <input type="checkbox"/> 歴史文化学科	教育学部 <input type="checkbox"/> 教育学科 <input type="checkbox"/> 臨床心理学科
社会学部 <input type="checkbox"/> 現代社会学科 <input type="checkbox"/> 公共政策学科	社会福祉学部 <input type="checkbox"/> 社会福祉学科	保健医療技術学部 <input type="checkbox"/> 理学療法学科 <input type="checkbox"/> 作業療法学科 <input type="checkbox"/> 看護学科	

京都 **佛敎大学** BUKKYO UNIVERSITY
 〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96 Tel.075-491-2141(代)

グローバル人材とは

昨春、これからの京都には、グローバルマインド、公共マインド、ビジネスマインドを兼ね備えた「グローバル人材」が必要だと考...

Global X Local

実社会と連携した課題解決型学習を通して、地域社会に貢献できる人を育てたい

京都府南部地域で、長年、地域連携活動に力を入れている京都文教大学。昨春からは、オール京都体制で発足したNPO法人グローバル人材開発センターと協働して...



京都文教大学 総合社会学部 准教授 黒宮 一太先生

Profile 1997年京都大学法学部卒業。2002年同大学大学院人間・環境学研究科環境相関研究専攻(博士後期課程)研究指導認定退学...

そうしないと人生を面白くするものにはできないように思えます。そんなふうに考えられる学生が育つていくと面白いのではないのでしょうか。

いま、なぜグローバルか

本学は、京都を中心に近隣地域出身の学生が多くを占めます。また、卒業後も地元就職することを希望する学生が多い...

常態となった時代です。から、彼・彼女らには、「京都らしさ」を見いだすことすら難しくなっているのかもしれない...

教室の外へ飛び出そう! アクティブ・ラーニングで会話を真剣に楽しむ姿勢も

私の考えるグローバル人材

総合社会学部4年生 林 佐紀さん (京都市立紫野高等学校出身)



受講生の声

3回生でグローバル人材開発センターの報告会に参加して以来、大好きな京都が、その魅力を持ち続けるためには、グローバル人材が必要だと真剣に考えるようになりました...

そんな私が考えるグローバル人材とは「地元の維持、発展のために情熱をもって働ける人」。私もこれから、グローバル人材として社会へはばたきたいと考えています。

高校生のみなさんに一言。大学での楽しさは高校までの楽しさとは違います。高校まではその場限りのことが多いのですが、大学では、楽しいことに学びがついてきて、学んだことがさらに次の学びを生みます...

グローバル人材とは、グローバルとローカルを組み合わせた言葉で、「グローバル人材」とはグローバルな視野で物事を考えながら、地域経済・地域社会(ローカル)の持続的発展に情熱を注ぐ人材とされています。

また、来秋からは「グローバル人材PBL(プロジェクトベースドラーニング)」という課題解決型の授業も必修に加えられます...

京都文教大学 OPEN CAMPUS 2014 臨床心理学部 総合社会学部 京都文教短期大学

デキル学科

京都産業大学

文化学部の新学科

京都文化学科

※設置申請中

京都で日本文化の神髄を学び、世界とつながろう

昨年、訪日観光客数が初めて1000万人の舞台を超え、今後の観光産業やインバウンド事業にはますますの成長が期待されています。そうした時代のニーズの高まりを受けて、2015年春、京都の地に誕生するのが、京都産業大学文化学部の京都文化学科です。日本の文化が集積する地の利を活かし、体験を通じて京都文化を学び、実社会を牽引するグローバル人材の育成を掲げる新学科について、学部長の若松正志先生にお聞きしました。

※「Think globally, Act locally」から作られた造語。地域に軸足を置いて世界とつながることができる人材の「Thinker」。

京都で、京都文化を深く学ぶ

文化学部は2000年4月の開設以来、国際文化学科1学科のなかに日本、アジア、ヨーロッパ、アメリカの地域別4コースを置き、世界の文化について学び、国際的な視野を持ち豊かな教養を備えた学生を社会に送り出してきました。しかし、近年の待ったなしのグローバル化を受け、世界で活躍できる人材の養成により力を入れようと、文化に関する専門性(視点・方法・知識)を強化し、また世界から注目されている日本文化・京都文化の理解力と発信力を強化すべく、2015年4月から国際文化学科のコース再編と、京都文化学科の新設に踏み切りました。

100名で、「京都文化コース」と「京都文化英語コミュニケーション」の2コースを設けます。カリキュラムは、大枠はこれまでの国際文化学科日本文化コースのものを土台にしますが、日本文化の中心ともいえる京都文化を深く学べる科目をいくつも新設し、また体験型学習の充実や、それらを海外へ発信するのに欠かせない英語力の強化を図ります。

京都文化学科の特徴と国際文化学科の再編

「京都文化コース」では、歴史学・文学・芸術学などを学び、高度な専門性と幅広い教養を培います。主に1年次生が受講する『京都文化フィールド演習』では、京都市北区にキャンパスを構える利点を活かして、神社仏閣や伝統産業・伝統行事、茶道・華道などの伝統芸能、和食など、京都を舞台にした様々なフィールドワークを行います。日本三大祭の一つ、祇園祭では、函谷鉾の保存会と連携して、祭りの準備から外国人観光客への対応まで、学生が主体的に関わることで、実践力・課題解決能力を磨きます。

「京都文化英語コミュニケーション」では、京都文化・日本文化について学んだことを、海外へ英語で発信する力の養成に力を入れます。『英語で京都文化』は、歌舞伎・能・狂言といった舞台芸能、庭園デザインなどについて、京都文化に精通した外国人教員が英語で講義を行い、華道や茶道(実習)も行います。他にも、英語コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を高める多彩な英語教育カリキュラムを用意し、TOEFL®(PBT) 550点、TOEIC®730点、英検準1級合格などを、卒業要件とします。また、原則として全員が、英語圏大学への長期留学を経験します。

学科全体では、4年間を通じて演習科目(ゼミ)を必修とし、1年次から少人数制のゼミに参加することで、専門的な研究へ向けて段階的に学びを深めます。また、伝統産業や地域の行政・企業・団体などへのインターンシップ、留学生を交えて京都文化の発信を実践するサマーカーンなど、主体性や実践力・行動力を鍛える体験型学習も多く取り入れています。

京都文化学科の開設とともに、国際文化学科を従来の地域別4コースから分野別3コースに再編します。世界各地のさまざまな時代の文化を各種「資料」に基づき学ぶ「歴史文化コース」、哲学・思想・宗教などを、著作や言説を通して学び、世界と人間のあり方や社会の課題解決のヒントを探る「思想文化コース」、小説・詩などの文学作品から映画、演劇、絵画に至るまでを対象に、作品の表現や技法を分析し、知性と感性を磨く「文学・芸術文化コース」の3コースです。多様な文化を広く学ぶとともに、一つの文化を深く掘り下げて、時代や社会背景

私の専門は日本史

卒業時に与えられる新学科の学位は学士(京都文化学)(Bachelor of arts in Kyoto Studies)。社会に送り出す人材のイメージはまさにグローバルな視野を持ちながら、地域の社会や文化に貢献しようというグローバルな視点を身に付け、その発展に自ら取り組む人です。具体的には地方公務員やNPO・NGO職員など地域社会の形成にあたってプロフェッショナルな役割をする人。あるいは旅行業、宿泊業、運輸業、伝統産業などへ進みリーダーシップを発揮する人をイメージしています。また学芸員、図書館司書あるいは通訳ガイドなどとして、地域の文化や教育の発展に貢献するのでもいいでしょう。国際的な活躍も期待しています。



京都産業大学文化学部長 教授 若松 正志 先生

Profile
1963年生まれ。1986年東北大学文学部史学科国史専攻卒業。90年同大学大学院文学研究科博士後期課程中退後、同大学文学部助手、京都産業大学教養部講師、経済学部助教授を経て、2004年より文化学部教授。教学センター長、キャリア教育開発センター長なども歴任。専門は日本近世史。石川県立金沢泉丘高等学校出身。

多様な進路が視野に

で、講義やゼミでは日本文化や日本社会全般を扱っています。ゼミでは、学生たちの興味・関心を尊重し、アニメ・マンガ・ファッション・音楽などのサブカルチャー、あるいは食文化なども研究テーマとなりますが、歴史的な観点、資料に基づく実証性を重視しています。ゼミ生たちは毎年、卒業研究として、オリジナリティーあふれるそれぞれのしっかりとした文化論を完成させています。

2014年4月、外国語学部では学科を再編し、私立大学最多の10専攻語へ。理学部、コンピュータ理工学部、総合生命学部の理系3学部では「グローバル・サイエンス・コース(GSC)」が新たに始動。

また、2015年4月には文化学部にも全国初の「京都」を冠した学科「京都文化学科」を新設、京都の地で文化を学び世界へ発信。

京都産業大学は、今後ますますグローバルな舞台に挑戦し、活躍する人材育成に取り組んでいきます。

本学神山天文台から京都市内を臨む

OPEN CAMPUS 2014

8/2(土)・3(日)・17(日) 9/14(日)

2015年4月 文化学部 京都文化学科新設(設置申請中)

NEW 京都文化学科 国際文化学科

内容は予定であり、変更が生じる場合があります。

- ◆経済学部 ◆経営学部 ◆法学部 ◆外国語学部 ◆文化学部
- ◆理学部 ◆コンピュータ理工学部 ◆総合生命科学部

入学センター 〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 TEL.075-705-1437
http://sgc.kyoto-su.ac.jp

Keep Innovating. 京都産業大学 2015年、50周年を迎えます

AO合格者座談会

一般入試に先駆けて、自分の可能性を試せる試験としてすっかり定着したAO入試。恒例の合格者座談会は、お茶の水女子大学文学部言語文化学科、慶應義塾大学法学部、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)総合政策学部のそれぞれに、今春入学した3人の先輩に集まってもらいました。AO入試を選んだ理由やその対策、AO入試の良さなどは、司会を予備校時代、カリスマチューターと知られ、大学入試全般に詳しい編集委員の後藤健夫さんです。



川口 はるかさん
お茶の水女子大学 文教育学部言語文化学科
宮崎県立大宮高等学校(文科情報科出身)

高城 怜司さん
慶應義塾大学 法学部 F・I・T B方式
聖ウルスラ学院英智高等学校出身(宮城県)

舛田 桃香さん
慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス(SFC)
総合政策学部 AO
頌栄女子学院中学校 高等学校(東京出身)



私の志望理由
高城：中学時代に漠然と法や政治に興味を持っていましたが、卒業式前日に3・11を経験し、高校入学後、ボランティアで被災地に入りたり地域の祭りに参加したりしたことで、苦しい状況におかれた人たちに接し、地方行政や福祉制度に強い関心を持ちました。
慶應義塾大学法学部政治学科を目指したのは、前鳥取県知事の片山善博先生の本を読んだのと担任の先生からの勧めがきっかけ。
当初は一般入試を目指していましたが、3年になって大学のことをいろいろと調べるうちにF・I・Tに気付き、地域への貢献を謳う地域プロジェクトによる選抜、B方式に北海道・東北ブ

ロックで出願しました。AO対策専門の塾への通塾も含め対策は何もしてきませんでした。被災地での活動などが評価され合格できたのだと思います。
将来は宮城へ戻って地方行政か地元金融機関へ入り、大震災以降、特色ある活動をする企業をサポートしたいと考えています。
川口：とりあえず東京の大学で英語を学びたいと、東京外国語大学を目指して勉強していました。高校1年の夏、お茶の水女子大学の食物系を目指していた友だちから、お茶の水でも英語が学べることを教えられました。AOで志願した^{※1}のは、高校1年の春休みにISAのグローバル人材育成プログラム^{※2}に参加したのがきっかけ。一緒になったメン

バーの社会に対する意識の高さに触発され、自分でもニュースを見るなどして、自分の意見を持つと思い始めたからです。文科情報科が、もともと批判的精神を大事にする学科だったこともあります。
川口：とりあえず東京の大学で英語を学びたいと、東京外国語大学を目指して勉強していました。高校1年の夏、お茶の水女子大学の食物系を目指していた友だちから、お茶の水でも英語が学べることを教えられました。AOで志願した^{※1}のは、高校1年の春休みにISAのグローバル人材育成プログラム^{※2}に参加したのがきっかけ。一緒になったメン

想定の質問にも驚かされましたが、ディスカッションがいろんなことに興味、関心を持てるきっかけになることも気づかされました。そしてこれを使えば若者の社会への関心を高められるのではないかと、学校にディスカッション教育を取り込むことを考えました。志望理由書には、対話教育を広めたいと書きました。
最初慶應義塾大学にただ漠然と憧れていたのですが、次第にSFCが自分にぴったりに合うと思うようになりました。専門を一つだけ学ぶのでなく、たくさんの分野を選べることもすごいいい思いました。
高城：志願を決めてから、現国の先生に小論文を、面接は進路担当の先生をはじめ、いろんな先生を回ってお願いました。慶應義塾大学の先生が言われるには、面接の練習は両親に見てもらったのが一番いいということでした。
舛田：AOで志願することを決めてからは、中学からしてきた勉強を半分にし、半分の時間をAO入試と自分の将来のための活動にあてる決心をしました。一般入試にも備えて予備校へも通いました。

AO入試に望むこと
川口：塾へ行った人だけが通るようなものではなく、日本の将来にとってマイナスだと思えます。高城：地方の人にももっとチャンスを与え、多様な人が入れるAOであってほしい。現実には、地方枠で定員が埋まらなると都会枠が増えるとも聞きます。
後藤：どうしても都会の生徒と地方の生徒とは受験テクニックの差が出る。
川口：お茶の水女子大学のAOでは東京出身者はいません。
後輩へのメッセージ
高城：地方には特別な塾

AO入試に望むこと
川口：塾へ行った人だけが通るようなものではなく、日本の将来にとってマイナスだと思えます。高城：地方の人にももっとチャンスを与え、多様な人が入れるAOであってほしい。現実には、地方枠で定員が埋まらなると都会枠が増えるとも聞きます。
後藤：どうしても都会の生徒と地方の生徒とは受験テクニックの差が出る。
川口：お茶の水女子大学のAOでは東京出身者はいません。
後輩へのメッセージ
高城：地方には特別な塾

OPEN CAMPUS 2014

7/27 SUN	8/2 SAT	8/10 SUN	8/17 SUN
8/24 SUN	9/7 SUN	9/14 SUN	

10:00~15:30 受付開始9:30 受付終了15:00

内容は、

- ★体験授業
- ★校内ツアー
- ★在学生とのフリートーク[しゃべり場]
- ★軽食サービス
- ★展示・相談 など

Shota Maris
神戸海星女子学院大学
〒657-0805 兵庫県神戸市灘区青谷町2-7-1
神戸海星女子学院大学 入試課
TEL: 078-801-4117 (直通) FAX: 078-801-3553
E-mail: nyuushi@kaisei.ac.jp



東京・ジャパン、グローバル

新しい風、発見や感動を自分の力に

第2回

武川 アイ

Profile

(1988年 東京生まれ) 抜群の歌唱力とポップなソングライティングが高い評価を受け、2009年avexから「I WILL」でメジャーデビュー。創作活動やライブ活動の他、TV(NHK-BS「J-MELO」)ラジオ(NACK5「GOLDEN 4 EGGS」etc.)の音楽番組に出演などマルチに活躍。2013年春からは海外の音楽家とのコラボ作品を多数制作、「Beyond the Moon」と「Whispers」などが英国のレーベルから、「Waiting For You」や「Sail Again」他がスウェーデンのレーベルから続々とリリース。最新曲の「Illusion」と「Too Late」も、iTunesから6月30日に世界配信が同時にスタートとなり、日本で最もグローバルなシンガーとしての活動を展開中。早稲田大学大学院在学中。
<http://aitakekawa.net>

歌詞は日本語・曲は英語

「愛してるの響きだけで、強くなれる気がしたよ」

私が好きなバンド、スピッツの、「チェリー」という曲。小学生の時に聴いて以来、私のお気に入りの曲で、特に、歌詞がものすごくいい。歌詞を見ただけで、ときめいてしまう。

しかし、これを英語に変えようとすると、少し難しい。ひとまずやってみよう。

Just by the sound of I love you, I felt that I could be stronger.

私が悩むのは、「愛してるの響きだけで」が“Just by the sound of I love you”になるところである。辞書で引いても“sound”と訳されるし、意味としても間違っていない。しかし、「響き」という言葉には、英語の、“sound”以外の意味がたくさん込められている。

「響き」から連想できるのは、広いホールのようなところで、音が反響するイメージ、さらには、海や山といった自然のイメージ。どこか深いところで、低音が鳴っている、そんなイメージも感じることができる。スピッツのこの歌詞は、「愛してるの音だけで強くなれる気がしたよ」だと、多分パンチが足りない。

Echo?(反響) Vibration?(震動)「響き」のように、言葉の音が発信している側(スピッツの曲でいうと「愛してる」と言った人)から聞き手(愛してると言ってもらった主人公)に伝わる様子をロマンチックに表してくれる言葉は、英語では見つからない。

中学生の時にマイケルジャクソンをきっかけにアメリカのポップソングにはまり、高校でロックバンドを結成してからは、60年代から80年代の洋楽に夢中になった。当時同級生を中心に結成していたバンドのメンバーはベースがアメリカ人、リードギターがイギリス人で、リズムギターとドラム、さらに私が日本人という編成だった。バンドのメンバーおすすめの洋楽をライブの度にカバーしていたら、知らないうちに自分が生まれる十年以上前に流行った曲を、毎日iPodで聴くようになっていた。

邦楽は兄弟から最新のものを教えてもらい、洋楽は

昔の楽曲を、バンドのメンバーや周りの大人の人のから教えてもらいながら集めた。洋楽を聴いていると、メロディーが波のように体の中に流れていく感覚が、快感だった。でも、そこには歌詞の言葉一つ一つをじっくり楽しんで音楽を感じる、という、邦楽の持つ、映像的な要素は、見つからなかった。

作曲をする時に、私は歌詞をまず英語で書く。曲のメロディーだけが降りてくるというよりは、そこに英語の言葉がくっついて聴こえてくる形なので、そのまま歌詞と曲を同時に仕上げる。その後、曲が完成すれば、一から日本語で歌詞を書き始める。

日本語の言葉の魅力は、言葉の持つイメージの広さだけではない。

去年の春から、カタル人の友人の紹介で、トランステクノのDJ兼プロデューサーであるアマールとコラボレーションでの楽曲制作を始めた。一曲目の“Beyond the Moon”はイギリスのレーベルからリリースが決まり、世界で、配信リリースとなった。幸いにも、各国のトランスファンの方からのサポートをもらい、すぐに、同レーベルから第二弾をオファーされた。アマールから送ってもらった2曲目のデモトラックは、アジアをイメージしたものだった。いつものように、作曲を進めると、いくつかの箇所では、どうしても英語の歌詞がハマらない。無理やりハマてみるが、「これだ!」とはいかないので、納得がいかない。結局、日本語を使うことにした。いざリリースしてみると、日本語のフレーズの音に関する反応が、色々な国のトランスファンの人から届いた。綺麗な音だね、というメッセージをもらうと、やはり!と嬉しくなった。「囁くの」(“Whispers”という曲の歌詞の一部)私はこの言葉を、英語に訳すことができなかった。

歌詞は、音楽家のメッセージを届けるものだから、理解のできない言葉が多くなってしまうと、曲の良さも一緒に失われてしまうと、私は思う。しかし、私は、日本語の「音」には、世界の人を惹きつける魅力があると思う。現在までで、トランステクノというジャンルで世界の音楽家とコラボレーションをした曲は、10曲程になる。これからも、日本語の音の魅力を世界に発信していきたいと考えている。

のやり方としては、やはり並行して学力も見るとの方がいいと思います。そうすればAOで入った学生は勉強してないのではないかとというイメージもなくなる。逆に一般入試の受験生にも面接を課したらどうでしょう。

川口: 私は今のように両方あった方がいいと思います。一般入試なら勉強、AOなら専門というように、秀でていた分野が違う学生が交ざりあっている方がお互いに成長しあえるのではないかと前から思っています。後藤: SFCはAOの定員が多いから、入るのに努力してないとは言われないと思いますが。川口: すべてAO的な選抜方法にするのもいいが、やはり何らかの形で学力は問うべきだと思います。資格を問うのもいいかもしれませんが、学力試験に面接を入れる、AO的要素を入れるのも一つの方法。というのも、一般入試で入った子で、将来のビジョンを明確に持っている子にまだ出会っていない。自分が入試に臨むにあたって、将来についてぜひぶん考えた分、どうしてもそういう目で見てもしょうかもしれません。と、とりあえず偏

差値とか、何々ができたからというのが一般入試で入ってきた子には多い。「東京、英語」で探したら、大学はたくさんあります。しかしそれぞれカリキュラムも違うでしょうし、サークル一つとっても違います。AOでは自分に合う大学を見つかるために研究もする。すべて知ることではないかもしれないですが、大学へ入ってから学び方も充実すると思えます。

TOPICS

京大を知ろう

京都大学入試フェア

京都大学の入試や研究内容についての説明会を全国3会場で開催。

(対象: 受験生、保護者、高等学校教員・出版社・予備校関係者)

開催地	開催日	時間	会場
東京	8月31日(日)	13:00~17:50	秋葉原UDX 4階
大阪	9月6日(土)	13:00~16:20	グランフロント大阪北館 8階
名古屋	9月27日(土)	13:00~17:10	名古屋ルーセントタワー 16階

京都大学特色入試説明会

平成28年度から実施の「京都大学特色入試」についての説明会を全国5会場で開催。

(対象: 高等学校教員、出版社・予備校関係者)

開催地	開催日	時間	会場
広島	7月28日(月)	17:00~18:00	駿台予備学校 広島校
新潟	8月20日(水)	16:30~17:30	朱鷺メッセ 3階302
札幌	8月24日(日)	16:30~17:30	札幌アスティ45ビル 12階 ACU(アキュ) 1206号室
大阪	9月6日(土)	12:00~13:00	グランフロント大阪北館 8階
名古屋	9月27日(土)	12:00~13:00	名古屋ルーセントタワー 16階

京都大学交流会

「今後の入学者選抜方法」についての意見交換会を全国4会場で開催。

(対象: 高等学校教員、出版社・予備校関係者)

開催地	開催日	時間	会場
京都	7月24日(木)	13:30~19:00	京都大学百周年時計台記念館
岡山	8月1日(金)	14:00~18:30	代々木ゼミナール 岡山校
東京	8月21日(木)	13:30~18:00	河合塾 池袋校南校舎
福岡	8月22日(金)	13:30~18:00	駿台予備学校 福岡校

詳細、申込は京都大学HP (<http://www.kyoto-u.ac.jp/>)を。

問い合わせ先: 京都大学学務部入試企画課

Tel 075-753-2524 Fax 075-753-2565

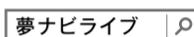


学問を宣伝する。

大学教授が高校生に学問をプロモーションするイベント「夢ナビライブ」。全国の大学が参加して、約1,000種類の学問の講義が繰り広げられます。「究めたい学問を見つけて、学べる大学に出会う」ために、大学進学をめざす高校生に是非とも参加させたい学問発見イベントです。



LIVE 2014 夢ナビライブ2014は仙台・東京・名古屋・大阪・福岡で開催。



高校生の未来を考える会社 FROMPAGE



現代物理学の最先端、超弦理論。超弦理論は宇宙に隠された様々な謎を解くための最有力候補とされています。そんな超弦理論や物理学のホットピックについて全6回にわたり、わかりやすく教えてくれるのは、カルフォルニア工科大学の理論物理学研究所所長であり、東京大学 国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構で主任研究員を務める大栗博司先生。今回は第3回「素粒子の世界の謎に迫る——4つの力と標準模型」です。

超弦理論が予言する 驚異の宇宙



カリフォルニア工科大学 理論物理学研究所 所長 大栗 博司先生

Profile
カリフォルニア工科大学理論物理学研究所所長、東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構主任研究員。1962年生まれ。京都大学理学部卒、東京大学理学博士。プリンストン高等研究所研究員、シカゴ大学助教授、京都大学助教授、カリフォルニア大学パークレイ校教授などを歴任。著書に『重力とは何か』『強い力と弱い力』（いずれも幻冬舎）、『大栗先生の超弦理論入門』（ブルーバックス）など。岐阜県立岐阜高等学校出身。

第3回 素粒子の世界の謎に迫る 4つの力と標準模型

も変えるのです。例えば中性子に弱い力が働くと、陽子と電子と反ニュートリノに変化します。弱い力の発見によって、力という考え方が拡張されて「もの」の状態を変えるものも含まれるようになりました。

物理学者は、こうして明らかになった4つの力から素粒子に働くことによつて、自然界のあらゆる現象が生み出されているのだと考えています。

標準模型の二つの問題

では、4つの力が働く素粒子はどこまで説明されているのでしょうか。つい最近、ヒッグス粒子の発見がノーベル賞を受賞して大きな話題になりました。これまでわかっていた素粒子の世界を説明する「標準模型」という理論があるのですが、ヒッグス粒子の発見により標準模型が予言する全ての粒子が見つかって、理論の正しさが検証されたのです。

しかし、その標準模型ではないと言われている

強い力と弱い力

19世紀半ばには重力に加えて、電磁気力の存在もわかっていました。ところが、力はそれだけではありませんでした。20世紀になって、原子核の中のことまでわかってくると、そこには今まで知られていなかった二つの力が働いていることが明らかになりました。この二つの力はあまり遠くまで働かないため19世紀まで見つかったことがなかったのです。それが「強い力」と「弱い力」。情けない名前ですが、それぞれ電磁気力より強い／弱いためにこのように名づけられました。

まずは強い力からご説

と呼ばれるものに分けることができます。クォークが強い力で引きあつて陽子や中性子を作っている。つまり強い力とは、陽子や中性子を作る力なのです。湯川秀樹博士が発見した核力、つまり陽子や中性子が引き合つて原子核を作っている力も、強い力から導かれる力です。

さて、続いて弱い力です。こちらは原子核からの放射線の原因になっている力です。原発事故で有名になってしまった放射性物質にも、太陽が燃える原動力にも弱い力は関わっています。この弱い力は、今までに出てきた力と異なり、粒子の運動を変えるだけではなく、その種類を

す。一つはここ20年くらいの観測によつて、標準模型で説明できる物質、つまり私たちに馴染みの深い原子や電子は、宇宙のわずか5%にすぎないことが明らかになったのです。残りの95%は、標準模型の表に入っていない新しい種類の素粒子というのがある。また直接検出されていないので、どんなものかはわかりませんが、私たちの宇宙には、現在知られている物質の5倍くらいあることがわかっています。

19世紀に天文学者のフリッツ・ツビツキーが、銀河団の運動が知られている物質だけでは説明できないことに気がつきました。その後ベラ・ルービンという天文学者も、銀河の回転の仕方が同じように今わかっている物質だけでは説明できないと言いました。銀河が潰れないで形を保っているのは、回転することによる重力と遠心力が釣りあつて

るので、重力が弱くなれば回転速度も遅くなると考えられます。そこで、よく見る銀河の模式図のように、銀河の質量の密度は中心あたりが高く、外に行くほど低くなっていると仮定しましょう。遠心力が、このような質量分布による重力と釣りあうためには、銀河の回転速度は中心から遠ざかるほど遅くなるはずですが、つまり、遠方の星ほどゆっくり回転していると言言できる。ところがルービンが回転速度を実際に測つたところ、思ったほど速度が遅くならなかったことが明らかになりました。その事実からルービンは、銀河の外側ほど物質が少なくなっているように見えるが、実際は見えない物質が外側にあるのではないかと考えました。それが暗黒物質です。

今では暗黒物質よりもっと多い、暗黒エネルギーという不思議なエネルギーがあることもわかっています。その本性が何であるのかを解き明かすのは、いよいよ量子力学と重力の理論を統一した理論の出番です。このことは標準模型が完全ではないもう一つの理由

「標準模型は重力を含んでいない」に関係します。そもそもどうして量子力学で重力を含む理論をつくるのが難しいのかというと、量子力学の世界では色々な物事が不確定になってしまふからなのです。ここで「自由度」という用語を導入しましょう。例えばボールを投げる時、ボールの運動を記述するためには、縦横、高さの3つの位置座標と、同じく縦方向、横方向、高さ方向への速度を指定する3つの速度が必要で、この場合「6つの自由度がある」といいます。ものの状態を表すために必要な数字とも言えます。

アインシュタインの重力理論では、実は空間や時間の性質が自由度になります。物質があると空間や時間の性質が変わるため、空間や時間自身が自由度となるのです。それに量子力学を組み合わせようとすると、空間や時間すら不確定になってしまふ。

不確定な時間や空間の中で素粒子がどのような運動をするのかを記述する理論は作れません。というところは、重力と量子論を統合するためにはもう一度空間と時間をおさないとはいけません。それに唯一成功している理論が、超弦理論なのです。いったいどんな理論なのか、次回以降で紹介しましょう。

「標準模型は重力を含んでいない」に関係します。そもそもどうして量子力学で重力を含む理論をつくるのが難しいのかというと、量子力学の世界では色々な物事が不確定になってしまふからなのです。ここで「自由度」という用語を導入しましょう。例えばボールを投げる時、ボールの運動を記述するためには、縦横、高さの3つの位置座標と、同じく縦方向、横方向、高さ方向への速度を指定する3つの速度が必要で、この場合「6つの自由度がある」といいます。ものの状態を表すために必要な数字とも言えます。

アインシュタインの重力理論では、実は空間や時間の性質が自由度になります。物質があると空間や時間の性質が変わるため、空間や時間自身が自由度となるのです。それに量子力学を組み合わせようとすると、空間や時間すら不確定になってしまふ。

不確定な時間や空間の中で素粒子がどのような運動をするのかを記述する理論は作れません。というところは、重力と量子論を統合するためにはもう一度空間と時間をおさないとはいけません。それに唯一成功している理論が、超弦理論なのです。いったいどんな理論なのか、次回以降で紹介しましょう。

御園 真史
島根大学教育学部数理基礎教育講座准教授、博士(学術)
研究室公式ホームページ <http://misono-lab.info/>
ツイッターID miso_net

第40回 数学の教科書の読み方

前回は、数学をどう学んでいけばよいかを考えてきました。数学で大切なことは、決して「計算すること」や「問題を解くこと」だけではないことをお話ししました。また、数学のお奨め勉強法として、学校の教科書をよく読むことも書きました。今回は、教科書の読むときに意識してほしいことを2つ挙げたいと思います。

■概念の理解を大切にす

教科書では、大事な用語など太字になっています。例えば、数学Iの教科書を見てみると、「自然数」、「実数」、「集合」、「要素」など多数の用語がでてきます。これらは、数学的な「概念」ともいえます。数学を考えるときには、まず概念を理解していくことが必要です。

まず、数学的な概念は明確な「定義」である場合も多くあります。例えば、「整数 m と 0 でない整数 n を用いて $\frac{m}{n}$ の形に表される数を有理数という」は、有理数の定義を示し、明確に概念が定義されています。

このような定義は、まずその意味をよく押さえ、具体例を挙げたりしながら理解していくとよいでしょう。例えば、「 $-\frac{2}{3}$ は有理数」、「 $\frac{1}{\sqrt{2}}$ は有理数ではない」などです。

一方で、(高校までの)数学では、定義があまり明確に書かれていない概念も登場します。例えば、「1, 2, 3, ... を自然数という」は自然数を説明している文ですが、あまり明確な定義ではありません。このようなものと具体例を用いて説明しているのです。数学は基本的に明確に概念を定義していくので

が、学習する時点で理解するのが難しい場合はこのような説明になります。自然数をきちんと定義するには、例えば「ペアノの公理」という考え方になりますが、これは大学で学ぶ代数学の話になっていきます。意欲的な人はもっと専門的な本を調べていっても良いですね。

というわけで、教科書の説明はいつでも明確なわけではないかもしれないのです。同じような例は、数学II以降で出てくる「極限」でも現れます。高校では、大雑把にとらえますが、大学で微分・積分学で、厳密な極限の定義を考えていくことになります。このようなときに自分に理解力がないかもしれないと責めないで下さいね。

さて、いろいろな説明があるにせよ、概念の理解で大切なことは概念どうしをつなげていくことです。

このように、知識を単発で覚えるのではなく、つなげて深めていくことが大切です。こういった思考を繰り返していくことで、教科書の定義を超えたその人だけの概念の理解になっていき、その人の数学の見方が形作られていきます。ぜひこういった姿勢を大切にしてみてください。

■論理展開の理解を大切にす

もう一つ大切なことは、教科書の説明で書かれている論理の流れを追うことです。例えば、ついつい重要な公式を覚えてしまおうとしますが、その公式がなぜ成り立つのかを追及してほしいということです。例えば、証明問題が苦手という人が多いですが、証明は論理のつながりですので、普段から論理展

開を意識しておくことが重要だと思います。

例えば、中学校でも習った平方根の公式に $a > 0$ 、 $b > 0$ のとき、 $\sqrt{a}\sqrt{b} = \sqrt{ab}$ があります。公式は覚えている人が多いと思いますが、それがどうして成り立つか考えたことがありますか。高校の教科書によってはこの証明が載っていますが、そのまま素通りしてしまう人も多いのではないのでしょうか。

それを考えるには、 $\sqrt{\quad}$ の定義に戻ることも必要です。

なんとなくの理解ではなく、その意味や論理の流れ、構造をきちんと追っていき、すっきり理解することで力がついていきますし、それを1人で考えるのは難しいと思いますので、友達同士や先生と「議論」していくと良いでしょう。すると、今まで見えなかったことが徐々に見えていきます。そのような段階にまでなれば成績はすごく伸びていくと思います。

ところで、条件に「 $a > 0$ 、 $b > 0$ のとき」とあります。このように「条件」にも気を配っていく必要があります。その条件を満たさない場合はどうなるのだろうか考えるのもまた数学です。実は、 a 、 b に負の数が入っていくと成り立ちません。 $\sqrt{\quad}$ の中に負の数が入ると、それは実数の範囲を超え、虚数や複素数の概念を持ち出さなくてはならなくなりますが、実数の世界での常識が通用しなくなることもあるのです。

なんか大変そうだなと思ったかもしれませんが、1つ1つそういった視点で数学を捉えていくと、きっと見え方が違ってきて、数学って奥が深いなあ、もっと知りたいなあと思えてくるのではないかと思います。

イギリスの大学進学のための資格試験制度 GCE試験の現在、過去、未来

*GCSE、General Certificate for Secondary Education
は中等教育修了認定資格、GCE General Certificate for
Educationは教育修了認定資格などと訳される)



早稲田大学
文学学術院教授・
入試開発オフィス長
沖 清豪先生

Profile
1996年早稲田大学大学院文学
研究科後期課程単位取得退学。
1996～1999年 国立教育研究
所教育経営研究部高等教育研究
室研究員、1999年4月 早稲田
大学第一文学部専任講師、同助
教授、准教授を経て現職。同入
学センター副センター長。専門は教
育行政・制度・経営論、教育社会学
(高等教育・学生支援研究)。共
編著『データによる大学教育の自
己改善—インスティテュショナル・
リサーチの過去・現在・展望』(学
文社、2011年)など。麻布高等学
校出身。

第2回 GCSEとGCE試験*

前回はイギリスの大学入試システムの概要と特徴を確認した。イギリスの資格試験制度もまさに改革の途上であり、今回は現時点までの2つの試験制度の特徴を紹介する。

イギリスにおいて中等教育の質保証は歴史的に資格試験という形で行われてきた。1980年代まで中等教育の修了資格としては、GCEのO(一般・Ordinary)レベルと、それより水準の低い中等教育資格

(CSE)と呼ばれる試験が実施されていた。両者は義務教育が終わる段階で就職するために必須の試験というわけではなかったため、大学進学を希望しAレベル(Advanced Level)発展段階)試験を目指す少数の生徒を除き、受験者は多くなかった。しかしそれは学校教育の質が問題となる。特にサッチャー首相政権の下で学

向上が求められる中で、1988年にOレベルとCSEに代わる新たな試験制度としてGCE試験が導入されることとなった。GCE試験は現在、14歳から16歳までの学習成果を測定する資格試験と位置付けられており、ナショナル・カリキュラムのコア教科である英語、数学、科学等がほぼ必須受験となるとともに、コースワークと呼ばれる学校内での学習活動に対する担当教員の評価も組み入れて科目ごとに最終評価を行っている。GCE試験の成績優

秀者の割合、および到達度測定の一尺度とされる英国バカロレア試験の成績優秀者の割合は、学校の第三者評価(インスペクション)のデータとしてウェブ上に公開されており、保護者による学校選択の指標ともなっている。

16歳で義務教育を終えた若者は、自らの進路を決定し、それに見合った教育機関に進学する。大学進学を選択した若者は、伝統的に設置されているシックス・フォームと呼ばれるクラスやシックス・フォーム・カレッジと呼ばれる学校に進学して2年間、Aレベル試験の準備のために学習する。

Aレベル試験は2000年の改革以降、2年間で原則4つの学習単位(module)を学び試験に備えるという形式で実施されている。また1年目の終了時には、2つ程度の学習単位を評価するためにAS(Advanced Subsidiary Level)発展補助段階)試験と呼ばれる試験が設定されており、その成績自体も資格として認められている。もちろん、伝統的な大学に進学を希望する場合は2年目の学習も重要となる。Aレベル試験で用意されている科目は中等教育段階の学校で提供されている科目が中心であるが、選択科目の種類も会計学から各種語学まで多様であり、いずれも日本における大学教養課程に相当する水準の理解を求めているようである。た

とえば社会学という試験科目の学習単位には、イギリスの教育制度の理解と課題の分析というかなり高度な内容が含まれている。

以上2つの試験が日本の制度と大きく異なる点として2点指摘できる。第一に、GCEもAレベル試験も、政府機関の認可を得た民間の5つの試験機関がそれぞれ自らの責任において実施科目を設定し、試験を運営し、成績評価を行っている点である。英語や数学といったコア教科の試験はすべての試験機関で準備されているが、会計学や社会学などは一部機関

でしか実施されていない。さらにAレベル試験の場合は試験内容も試験機関ごとに設定され、その準備のための教科別参考書も試験機関が販売している。受験生は公表されている試験内容を確認しつつ、どの試験機関の試験を受験するかを選択するのである。

第二は、試験の最終評価が点数化されていない点である。GCEの最終評価はA*(Aからの最終評価はAからEまでの6段階で示され、いずれの試験も厳密な点数化による受験生の順位づけが目的なのではないことを示している。

さて、イギリスも試験制度改革が急ピッチで進められている。Aレベル試験については、従来1月と6月とに2回の受験機会が設けられていたが、2014年9月大学入学者、すなわち2014年実施の試験から、1月の試験が廃止され、一年に1回の受験機会のみとなっている。その他の大きな改革やその背景については改めて確認していくこととしたが、その前に今回は職業資格との連携について見ていくことにする(続く)。

※英国の学校体系
英国はイングランド、ウェールズ、スコットランド、および北アイルランドからなる連合王国で、学校体系や資格制度の名称も国によって異なっている。本稿では一般的なイングランドを中心に記述する。
イングランドの公教育では、5歳から16歳までが義務教育期間として設定されており、この最終学年において履修している科目について、GCE試験を受けたことなどが期待されている。しかし生徒の学力や学校での指導などの面ですべての生徒が多くの科目を受験することは限らず、現在でも当該学年の生徒の受験率や成績が第三者評価の指標の一つとなっている。1980年代に入るとは16歳の誕生日を過ぎた若者の多くはすでに就職し、あるいは1年から3年程度の期間継続教育プログラムと呼ばれる職業訓練教育プログラムとなった。その後の30年でイギリスの高等教育進学率は政策的に上昇させることが目指され、現在に至っている。

世界の若者が、自分の一 場所で働けるように

グローバル人材への道のりと、世界のトップ大学を訪れて思うこと

世界でほぼ唯一、優秀な海外の大学生、大学院生を登録した日本企業向けリクルーティングサイト、TOP CAREERを運営する柴崎洋平さん。「シリコンバレーのベンチャーがやりたがらないことを」と、世界中の高度人材に特化したデータベース構築のために世界40か国、700以上の大学にコンタクトしたり、足を運び、会社説明会を開いて集まった学生に日本の魅力を伝え、ネットワークを広げる(左頁写真)。その努力が実り、現在、登録された海外高度外国人材は約10万人。大手日系企業を中心に、国内のグローバルマインドを持った新卒学生に加え、世界の高度人材の採用支援コンサルティングや全世界の学生に向けた各種プロモーション活動を行い、業績もうなぎのぼり。柴崎さんにグローバル時代のキャリアの作り方と、そのための最低限のツールである英語の学び方、仕事



フォースバレー・コンシェルジュ株式会社
代表取締役社長
柴崎 洋平 氏

Profile
1998年 上智大学外国語学部卒業後、ソニー株式会社入社。世界10数か国で、SAMSUNG、Motorola、Nokiaといった世界的なグローバル企業とビジネスを行う。2007年 ソニー株式会社退社後、同年、フォースバレー・コンシェルジュ株式会社設立、代表取締役社長就任。世界経済フォーラム(ダボス会議)、Young Global Leaders (YGL) 2013選出。上智大学非常勤講師。桐蔭学園高等学校出身。

私と英語。 どのように グローバル人材に。

今、もしかしたら私は

これまでの人生の中で一番一生懸命英語を勉強しているかもしれない。今年、生まれて初めて(一)、TOEICも受験しました。スコアはまずまずでしたが、中学、高校、そして大学と、な

この場合は四か月に一

度程度、1週間泊り込みで行われます。集まってくるのは私のような起業家や大会社の二世、三世、官僚など、文字通り各国、政財界のエリートの卵たち。数十年後やそれ以降の世界像と、そこへの到達方法、具体的な行動計画について議論するわけですが、内容はともかく、他の参加者の、共通語である英語を操る力

書評

雑賀 恵子



ネグリ、日本と向き合う

アントニオ・ネグリ他
NHK出版新書

マルチチュードという言葉をご存知だろうか。もともとは多数とか群衆とかいう意味を持つラテン語で、17世紀の思想家スピノザが用いた政治概念として知られている。この言葉が日本で一躍有名になったのは、アントニオ・ネグリとマイケル・ハートの『＜帝国＞—グローバル化の世界秩序とマルチチュードの可能性』(以文社、2003年)によってである。資源確保や市場開拓などを目的として軍事力を背景に領土拡大し、政治的のみならず経済的、文化的にも支配を押し進めていくのが従来の帝国観だ。ネグリ/ハートは、現在のグローバリゼーションを分析するにあたって、脱中心的、脱領土的な支配装置を考え、それを＜帝国＞と呼んだ。つまり、支配的な国民国家、世界銀行などの超国家的な政治的経済的諸機関、国民国家の枠組みを超越して展開する多国籍企業、そして各種のNGOやメディア・コングロメイトなどが結合したネットワーク状の権力である。生の営み全体を収奪するような＜帝国＞に抗して、収奪されることなく分かち合い共生するネットワークは、いかに構築できるか。ここで、かれらがスピノザを経由して持ち出したのが、複数の多様な主体としてのマルチチュードという概念であった。

大阪教育大学附属高等学校天王寺学舎出身。京都薬科大学を経て、京都大学文学部卒業、京都大学大学院農学研究科博士課程修了。大阪産業大学他非常勤講師。著書に『空腹について』(青土社)、『エコ・ロコス 存在と食について』(人文書院)、『快樂の効用』(ちくま新書)。

自主管理を目指す大衆運動の理論的指導者として活躍し、思想に対する政治的弾圧で1978年に不当逮捕され投獄、途中フランスへの亡命もあったが長く収監されていたネグリが、ようやく自由の身になったのが2003年。獄中生活中も屈することなく研究を続けていたネグリの著書は、ほとんど日本語に訳され、来日が待ち望まれていた。2013年4月、ネグリは日本の地を踏み、シンポジウムや講演に出席する。日本の識者たちとの対話をもとに、三つのテーマからなるのが本書である。

米国の衰退と中国の発展のもとで覇権争いが生起している東アジアに位置する日本をテーマにしたのが第一章。現在の地政学的変容を分析しマルチチュードの連帯を東アジアに構築する術を問ひかけるネグリに、東アジア共同体を構想して来た姜尚中が応答し、対話する。

福島第一原発事故以降の日本が抱え持つ社会的分断と格差をいかに乗り越えていくかをテーマにした第2章では、テクノクラート組織とメディアが資本主義の支配を保障する「原子力国家」についてネグリが語り、市田良彦、上野千鶴子、毛利嘉孝がそれぞれの観点から問題提起し、応答する。

第3章は、原発危機からアベノミクスまでの日本の現在を分析しながら、超近代性と伝統の力が結びついている日本に、高度な生産性と共生をもたらす可能性を見いだす。受け止めるのは、白井聡と大澤真幸。

いま世界のなかで、日本に生きるものはどういうところにいるのか。世界とどう向き合い、どう生きていくのか。薄い本ではあるが、ここで発せられた問いかけは、立ち位置を支えてくれるかもしれない。



に圧倒されればなしなの
です。国内にいる時のよ
うに相手は手加減して話
してくれませんが、ビジ
ネスの場のように、共
有する会話の土台もない
からです。会合の性質上、
自分から意見を発信して
いかなければなりません
が、やはり日本人なのか、
言いたいことが喉元で止
まってしまふこともしば
しば。聞き役、いい意味
で調整役に徹せざるをえ
ないことも多いのです。
私は父の仕事の関係
で、5歳から7歳までイ
ギリスで過ごしました。
通っていた現地校には日
本人の子どもは私の他に
1人だけ。おそらくこの
時が一番英語力が充実し
ていた時だと思えます。
帰国後は、特別な勉強を
しないまま大学受験を迎
え、英語を使って仕事が
したいと智恵大学の外国
語学部へ入りました。た
だそこでも、高校時代
に始めたアメフトに夢
中で、英語の勉強は疎か
にしてしまいました。就

活にもあまり熱心ではな
く、ちようど就職氷河期
と言われ始めた頃でした
が、第一志望で唯一本気
で受けた、当時一番人気
の世界的なエレクトロニ
クスカンパニーに採用さ
れました。

その会社は当時、絶頂
期で、世界を視野に入れ
て日本発のビジネスを作
る、世界中の人の役に立
つものを作ろうと全社一
丸となって取り組んで
いました。「その商品/
サービスはWOW!なの
か?」が、新しいアイ
デアや新製品開発の基
準で、ビジネス

としては、それ
で世界の何%の
シェアが取れる
かをまず考えて
いました。当然、
英語力がなけれ
ば仕事のスター
トラインにも立
てないわけです。
そこで生まれて
初めて、もつと
英語を勉強して
おけばよかった
と痛感したので

用は世界でも珍しい制度
で、最近では様々な弊害
が指摘されていますが、
それに乗ったことが事業
を後押しする大きな力に
なりました。

現在、サイトへの登録
者数は全世界100大
学以上からなる約10万人
に加えて、国内有力大学
の留学生約1万人。海外
の高度人材を中心にこの
ような数の登録者を保持
している会社はおそらく
世界で唯一。前職で培っ
たネットワークや、世界
を視野に入れたアイデア
作りが大きい役立ってい
るのだと思います。

この事業を通じて見え
てきたのは、新興国も含
め各国のトップ大学の学
生がとて優秀なこと
です。英語力だけではあり
ません。専門性において
も日本の主要大学の学生
でも太刀打ちできない人
材がいくらでもいる。現
在でこそ、グローバル化
の中で、日本の産業界に
は危機感が広がり、新規
採用の大半者の資質に対
する不満も漏れ聞こえて
きますが、やや遅きに失
した感も否めません。少
子化の中でも進学率が高
まり、大卒者の数が減ら
なかつたことが、目を眩
ませていたのかもしれま
せん。

もつとも、このことで
日本の若者を責めよう
というのではありませ
ん。これまでの政治や経
済状況から高等教育へ
進む若者が少なかった
新興国においても、経済

私のビジネスと、 そこから見える 日本の危機

※1 1971年、スイスの経済学者クラウス・シュワブが設立したジュネーブに本部を置く独立した国際機関「ビジネス、政治、アカデミア」等、各界のリーダーが連携し、世界・地域・産業についてのアジェンダを形成し、世界情勢の改善に取り組み、スイスのダボスで開催される年次総会が特に知られている。

※2 世界経済フォーラムが2005年、40歳以下を対象に「Global Leaders of Tomorrow」(次世代のグローバル・リーダー)の後継として立ち上げた。

発展につれてその進学率
が高まり、それを採用す
る企業自体も力をつけて
きた。ちようど、東京オ
リンピック以降の日本の
ように。つまり、世界全
体のGDPに占める日本
のGDP比率が急降
下しているように、日本
の実力が落ちたのではな
く、日本の相対的な地位
が低下してきたにすぎな
い。大学も、企業もしか
り、今の状況では、こ
れまでと同じ努力をして
いたのでは、日本は確実
に沈んでいってしまうだ
けなのです。おまけに少
子化に歯止めがかからな
い。今後20〜30年、国内
マーケットだけで成長を
維持できる企業がどれだ
けあるでしょうか。もほ
や日本が生き延びるの
は、これまで以上に教育
に力を入れ、海外を視野
に入れたビジネス展開を
早めることしかありませ
んし、個人にとつては
それを見越した自己研鑽
しかない、と私は思っ
ています。

中から友人を選ぶことが
できます。ビジネスにお
いても同じで、英語に自
信があれば、極端に言え
ば世界のどこへ行っても
仕事ができます。英語が
使えないことでそのよう
なチャンス逃がすのは
非常にもったいないと思
います。

最近になって弊社は、
世界最大規模の教育事
業会社であるピアソン
PLC (Pearson PLC) の
日本法人、ピアソン・
ジャパンと、グローバル
化を急ぐ日本の大学をサ
ポートすることを目的に
提携しました。同社には
豊富な英語教育教材や
世界有数の英語能力測
定テスト(自動採点に
よるスピーキングテス
ト「Yesall」(ヴァーサ
ント)や4技能を測定
する「Progress」(プロ
GRESS)、留学に必要な
アカデミックな英語力を
測定するPTEアカデ
ミックなど)があります
し、弊社には、日本人学
生の留学先となる海外一
流大学とのネットワーク
や、海外留学経験者を積
極的に受け入れる企業と
のパイプがあります。社
会で通用する英語力に
は、話す力や聞く力は欠
かせず、そういった意味
でもピアソンのアッセ
メントには大変注目してい
ます。

今や、学校や大学が積
極的に民間の力を活用し
ようという時代です。両
社のこのような特性を生
かし、一人でも多くの日

本人学生が世界へ挑戦す
るのを後押ししていき
たいと思っています。
現在、弊社が新しい事
業として始めているの
が、専門職に特化した世
界中からアクセスできる
サイトの構築です。最近
はパイロット不足が話題
になっていますが、身近
な職業では、すし職人も
世界的に人手不足で
す。もしこんなサイトが
できれば、人を探してい
るお店や企業、団体や組
織と、活躍の場を捜しか
ねているプロフェッショ
ナルの両方から喜んで
もらえるでしょう。当初は
日本から世界へ発信する
ことになりましたが、将来
はその逆も考えられま
す。また、私たちと同じ
ような会社が海外にも
できれば、ネットワークは
さらに広がります。

グローバル社会の中
で、世界の若者が最も輝
く場所がどこかを探して
ほしい、それが起業当初
からの私の夢です。みな
さんが今よりもつと簡
単に世界で活躍できるよ
うになる日はそう遠くな
いかもありません。今か
らでも遅くありません。
その日のために、しっか
りと英語力を身につけて
おいてほしいと思いま
す。

これからの英語の 学び方。私の夢と みなさんの夢

※3 ロンドンに本部を置く世界最大の教育事業会社。ペンギン・ランダムハウスやフィナンシャル・タイムズを傘下に持つ。1500年にわたる出版業界の知識と最新のデジタルテクノロジーで、世界の教育業界に様々なサービスを提供している。

そのためにまず絶対に
必要なのは、英語力を身
に付けることです。それ
も机上のものではなく、
聞く力、話す力も含めた
トータルな英語力です。
今さら言うまでもないで
しょうが、英語が自由に
使えると、国内に限られ
た人の中からではなく、
何10億という世界の人の

このためにまず絶対に
必要なのは、英語力を身
に付けることです。それ
も机上のものではなく、
聞く力、話す力も含めた
トータルな英語力です。
今さら言うまでもないで
しょうが、英語が自由に
使えると、国内に限られ
た人の中からではなく、
何10億という世界の人の

このためにまず絶対に
必要なのは、英語力を身
に付けることです。それ
も机上のものではなく、
聞く力、話す力も含めた
トータルな英語力です。
今さら言うまでもないで
しょうが、英語が自由に
使えると、国内に限られ
た人の中からではなく、
何10億という世界の人の

このためにまず絶対に
必要なのは、英語力を身
に付けることです。それ
も机上のものではなく、
聞く力、話す力も含めた
トータルな英語力です。
今さら言うまでもないで
しょうが、英語が自由に
使えると、国内に限られ
た人の中からではなく、
何10億という世界の人の

このためにまず絶対に
必要なのは、英語力を身
に付けることです。それ
も机上のものではなく、
聞く力、話す力も含めた
トータルな英語力です。
今さら言うまでもないで
しょうが、英語が自由に
使えると、国内に限られ
た人の中からではなく、
何10億という世界の人の

2015年4月、立命館大学の新しいキャンパスが大阪・茨木市に誕生します。

2015年4月に、経営学部・研究科、政策科学部・研究科、テクノロジー・マネジメント研究科、経営管理研究科が、大阪いばらきキャンパスに移転します。両学部に通ずる社会と密着した課題解決型の教育・研究を地域と連携を取りながらさらに深め、進化させていきます。また、アジアのゲートウェイキャンパスとして、教育・研究のフィールドを世界へと広げていきます。



大阪いばらきキャンパス完成予定図

大阪いばらきキャンパス説明会も実施
受験生はもちろん、高校1・2年生や保護者の方も一緒に参加いただけます

OPEN CAMPUS 8/2(土)・8/3(日) 10:00-16:00

入退場自由・参加無料

衣笠キャンパス(京都)・びわこ・くさつキャンパス(滋賀)へ直行! 無料往復送迎バス運行。ご予約は特設サイトで。

イベントの詳細は立命館大学の入試情報サイト「リッツネット」で

入学センター TEL.075-465-8351 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

+R 未来を生み出す人になる。

立命館大学

RITSUMEIKAN

立命館大学大阪いばらきキャンパス(OIC)来春開設

立命館大学は来春、1994年開設のびわこ・くさつキャンパス(BKC)以来となる新キャンパスを、大阪府茨木市に開設します。学部では2006年の国際経営学科開設をはじめ国際化を推し進めてきた経営学部と、海外でのフィールドワークにいち早く取り組んできた政策科学部が、それぞれBKC、衣笠から移転^{※1}。《理論体系と実践事例の共鳴による問題解決思考の教学を展開する》ために、「アジアのゲートウェイ」、「都市共創」、「地域・社会連携」の3つの教学コンセプトを掲げます。完成時には学生総数6000名、留学生300名が集うことになり、地域からも新たな知と文化の交流・創造拠点として期待されています。また2016年には、第3の学部として新構想の総合心理学部(2015年4月設置届出予定)の開設も予定されています。

開設の主旨や、これからの展望について、川口清史総長と重森臣広政策科学部長にお聞きしました。

デキル! キャンパス!



アジアから世界の発展に貢献 — アジアのゲートウェイ

立命館は、グローバル化の流れをいち早く捉え、20年以上前から国際化のフロンティアとして様々な挑戦を行ってきました。近年は異文化理解を超え、海外



国際協働の推進拠点が始動

川口清史・立命館総長

き、新しいイノベティブな活動を生み出せる力。これこそが、大学で培うべき素養だと考えています。すべての学生に、こうした世界を舞台に働ける素養を身につけてもらうためには、日頃生活し、学びあうキャンパスそのものの国際化も不可欠です。またアジアの時代とも言われる21世紀、「グローバル人材」育成に先だつて「アジア人材」の育成も意識しなければなりません。アジアの一員でありながら、いち早く欧米の文化・教育を取り入れ、先進国としての地位を確立してきた日本は、アジアの未来の創造に積極的に関わっていく必要がある。そのために大学が果たすべき役割はきわめて重要であり、今後は企業や地域社会等とも連携した新しい挑戦にも取り組んでいく必要があると考えています。

立命館における直近のグローバル化の取り組みとしては、2012年度からスタートした文学部の「キャンパスアジア・プログラム」^{※2}、また、情報理工学部による、日本で初となる海外大学との共同学部開設(大連理工大(中国)に設置)があります。さらに、2013年度には、政策科学部等で、AIMS(ASEAN International Mobility for Students Programme)と連携した「国際PBL」によるイノベティブ育成プログラム(以下「国際PBL」)が国(文部科学省)の「大学の世界展開力強化事業」に採択され、今年度から本格実施しています。

今後、キャンパスアジア・プログラムは社会科学系学部へ、「国際PBL」は共同申請した経済、経営、国際関係の4学部以外へも広がっていく予定ですが、その中核拠点となるのが、経営学部、政策科学部の移転する大阪いばらきキャンパス(以下OIC)です。茨木市が隣接する大阪府は、日本を代表する国際商業都市であり、大阪府全体も歴史的にアジアとの結びつきが深いことから、OICをグローバル・アジア・コミュニティに貢献するアジアのゲートウェイにしていきたいと考えています。

教育改革のための最先端モデル — 都市共創、地域・社会連携

教育改革の側面からは、学びのスタイルの変容に合わせたカリキュラム、教授法、およびそれらがよりよく機能するための施設、設備の最先端モデルとしてOICを位置づけています。グローバル化の進展によって変容してきた社会が求める人材像、そして大学の学問、とくに社会科学系の諸学が扱う課題の複雑化、多様化は、われわれに教育の質的転換を迫っています。大講義室での授業で全体を理解し、そこから具体的な事例に入っていくという受動的な学びから、まず問題に触れ、そこから主体的に自ら学んでいくスタイルに自ら転換していくか。こうした状況を踏まえOICでは、実践事例を具体的に学びながら、それを理論体系との間でやりとりし、問題解決に具体的に関わっていくことを学びの中核として掲げました。

新しい学びを支えるのがPBL(Project Based Learning)・課題解決型学習(習)という学習スタイル。その課題として欠かせないのが「都市共創」や「地域・社会連携」といった考え方で、都市共創とは、かつての用語で言えばまちづくり、大学と都市が一体になってその発展を共に創造するという概念です。地域・社会連携は本学が伝統的に重視してきたもので、OICでは一層強化したいと考えています。

現在の学生は大学のキャンパスの中で学ぶだけでは、現実の問題を発見し、それに触れることがなかなかできない。また学問自体も、具体的な問題と関わりが関係しないことには発展しないものであり、キャンパスを地域に開き、多様なコミュニティを創ることは教育の面から非常に意義深いものだと考えています。地域社会、企業や行政が抱える具体的な課題と向き合い、その解決を図ることで、学生は自ら考え、自ら学び成長し、プレゼンテーション力やコミュニケーション能力も身につけていくのです。

OICに対しては、地域の期待も大きい。茨木市からは街ぐるみで様々な課題が寄せられていて、すでに政策科学、経営の両学部の学生たちがさまざまな取り組みを行っています。扉も門もないのがOICのキャンパスの二つの大きな特徴です。

「国際PBLによるイノベティブ育成プログラム」は、これまでの政策科学部と国際関係学部での実践を拡大したもので、グローバル化によって解決すべき社会の諸課題が複雑化・多様化する中で、正解のない問いに対して試みを受け入れる予定です。環境・福祉や都市計画・まちづくりなど、日本とASEAN諸国には共通する政策課題・社会問題も多く、それらについて各国の学生が協働して多角的に考察し解決策を提示していくことで、その解決に不可欠とされる「技術、ビジネスおよび制度デザイン」についての思考が、通常

微ですが、キャンパス内に商工会議所が入居するのにも極めて珍しいと思います。社会連携のスペースもあり、学生が日常的に地域の方と接することで刺激を受けるだけでなく、研究者も新しい素材を発見し、地域も進むべき方向について指針を得ることができると期待されています。これは、大学というものをまさに地域におけるソフトなインフラにしていきたい。この新しい挑戦を実の

また、英語学習を重視する姿勢に変わりはありませんが、「英語を学ぶ」科目を廃止し、英語で政策科学を学ぶPBL型科目など、「英語で学ぶ」科目を充実させました。実際、「Decoding Kyoto Project」^{※4}というプロジェクトでは、訪日外国人に木屋町や銭湯、伏見の銘酒などを英文で紹介する小冊子を作るなどの取り組みをしていて、その教育的効果は実証済み。今後はこの種のプロジェクトをさらに拡充していきたいと考えています。

また、この新しい学びのコミュニティにアジアからの留学生も入ることで、戦後日本が一定の繁栄と成功を生んだものについて、またそこから浮かび上がる新しい課題について学んでもらうことができます。そしてわれわれもまた、そこから未来につながる新たな視点を獲得することができるのではないのでしょうか。

また、英語学習を重視する姿勢に変わりはありませんが、「英語を学ぶ」科目を廃止し、英語で政策科学を学ぶPBL型科目など、「英語で学ぶ」科目を充実させました。実際、「Decoding Kyoto Project」^{※4}というプロジェクトでは、訪日外国人に木屋町や銭湯、伏見の銘酒などを英文で紹介する小冊子を作るなどの取り組みをしていて、その教育的効果は実証済み。今後はこの種のプロジェクトをさらに拡充していきたいと考えています。

また、この新しい学びのコミュニティにアジアからの留学生も入ることで、戦後日本が一定の繁栄と成功を生んだものについて、またそこから浮かび上がる新しい課題について学んでもらうことができます。そしてわれわれもまた、そこから未来につながる新たな視点を獲得することができるのではないのでしょうか。

また、この新しい学びのコミュニティにアジアからの留学生も入ることで、戦後日本が一定の繁栄と成功を生んだものについて、またそこから浮かび上がる新しい課題について学んでもらうことができます。そしてわれわれもまた、そこから未来につながる新たな視点を獲得することができるのではないのでしょうか。

また、この新しい学びのコミュニティにアジアからの留学生も入ることで、戦後日本が一定の繁栄と成功を生んだものについて、またそこから浮かび上がる新しい課題について学んでもらうことができます。そしてわれわれもまた、そこから未来につながる新たな視点を獲得することができるのではないのでしょうか。

また、この新しい学びのコミュニティにアジアからの留学生も入ることで、戦後日本が一定の繁栄と成功を生んだものについて、またそこから浮かび上がる新しい課題について学んでもらうことができます。そしてわれわれもまた、そこから未来につながる新たな視点を獲得することができるのではないのでしょうか。

また、この新しい学びのコミュニティにアジアからの留学生も入ることで、戦後日本が一定の繁栄と成功を生んだものについて、またそこから浮かび上がる新しい課題について学んでもらうことができます。そしてわれわれもまた、そこから未来につながる新たな視点を獲得することができるのではないのでしょうか。

※1 大学院は、経営学研究科、政策科学研究科の他、高度な専門職やプロフェッショナルを育成する経営管理研究科とテクノロジー・マネジメント研究科が移転。
 ※2 平成23年度に文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」に採択されている。広東外語外貿大学(中国広州)、東亜大学校(韓国釜山)、との共同運営。日中韓3大学からそれぞれ10名の学生が選抜され、各国のキャンパスを移動し、共同生活を送りながら学ぶ「移動キャンパス」アジア初の取り組み。1年目には派遣前教育として、海外で学ぶための基礎を各大学でしっかり習得。2、3年は「移動キャンパス」で、3ヶ月毎に日中韓を移動しながら語学や専門の学びを深める。4年目には3年間の学びを生かして海外インターンシップを受けることもできる。
 ※3 学生が集まって、電子情報や印刷物など様々な資料を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」を提供する。コンピュータ設備や印刷物の提供だけでなく、図書館職員によるサービスのあるところが多い。
 ※4 decode: ある一定の規則に従って別の形式に変換されたデータを元に戻すこと。